



ご家族(被扶養者)も 健診を受けてください

ご家族(被扶養者)の方にも毎年健診を受けていただきたく、当健保組合では全国80カ所の健診機関と契約しています。詳しくは4月にご自宅へ送付した「社会保険ガイド平成29年度」、または当健保組合のホームページをご覧ください。また、30歳以上の女性被扶養者の方へは、巡回レディース健診案内をご自宅に送付しています。

こんな誤解はしていませんか？

- 誤解 その①** 昨年受けたから、今年受けていい？
毎年健診を受けることで、体の状態の経年変化がわかります。日々の生活習慣の積み重ねが引き起こすメタボを予防するためにも、ぜひ毎年受診しましょう。
- 誤解 その②** 現在通院していて、よく検査を受けているので、健診は受けなくてもいい？
特定健診で行うすべての項目を通院先で検査しているとは限りません。健保組合が実施している健診を受けてください。



- 誤解 その③** 子育てや介護で忙しく、とても健診を受けている時間はありません。どこも悪くないし...
健診は半日程度で終わります。忙しい方もぜひ受けてください。生活習慣病には自覚症状のほとんどない病気もあるため、健診を受けずに気づかないままですと、知らないうちに悪化してしまうこともあります。
- 誤解 その④** 自治体実施するがん検診を受けたから、十分でしょ？
がん検診では、該当するがんに関する項目しか調べません。特定健診では生活習慣病に関する検査項目を網羅しています。がん検査を受けた方も健診を受けましょう。

ご家族の健康も、当健保組合が守ります。今年度の健診をまだ受診されていないご家族の方は、今すぐお申し込みを！

決算の お知らせ

平成28年度の決算数値が まとまりました

健康保険組合全体の財政状況

「平成29年度健康保険組合予算早期集計結果の概要」によると、健保組合全体の経常収支差引額は3,060億円の赤字となることが明らかになりました。

赤字組合数は1,015組合で、全組合の7割を超えています。平均保険料率は9・168%で過去最高となりました（なお予算早期集計とは、データ報告のあった1,375組合の数値をもとに、29年4月1日現在存在する1,398組合ベースの29年度予算状況を推計したものです）。

保険料収入は、被保険者数の大幅な増加や保険料率の引き上げにより、前年度比3・00%、2,311億円増加しました。

一方、支出面では拠出金が7・23%、2,382億円と保険料収入の伸び率を上回る大幅増となり、法定給付費も3・58%、1,422億円増加しました。その結果赤字幅は、前年度予算（▲1,372億円）に比べ、さらに大幅（1,688億円）な増加となりました。

赤字を出さないよう単年度の収支を均衡させるための実質保険料率（報告組合の単純平均）は9・691%で、協会けんぽの収支均衡料率（29年度予算数値9・72%）以上の健保組合は619組合にのぼり、報告組合の45・0%にのぼっています。

決算の内容

（決算にあたっての基礎数値）

平成28年度予算では平均被保険者数3,034名、平均標準報酬月額33万4,626円を見込んでおりましたが、全事業所の年間平均被保険者数は2,945名男子1,863名、女子1,082名、平均標準報酬月額は、33万1,954円（男子36万8,457円、女子26万6,493円）、前期高齢者医療費の対象者（年間平均）は39名でした。平成29年3月末の被保険者数は2,979名、被扶養者数は、1,282名（扶養率0・43）となりました。

また介護保険では、第2号被保険者たる被保険者数（40歳以上65歳未満）は697名、平均標準報酬月額で41万1,957円を見込んでおりましたが、第2号被保険者たる被保険者数は年平均で684名、平均標準報酬月額は41万6,059円でした。

●収入

（一般勘定）

◇一般勘定の収入総額は、14億8,993万4千円で、前年度比4,445万6千円の増収、予算額の99・9%、被保険者1人当たりでは50万5,920円でした。

◇この内訳ですが、健康保険収入は12億1,169万9

平成28年度 収入支出決算概要表

一般勘定

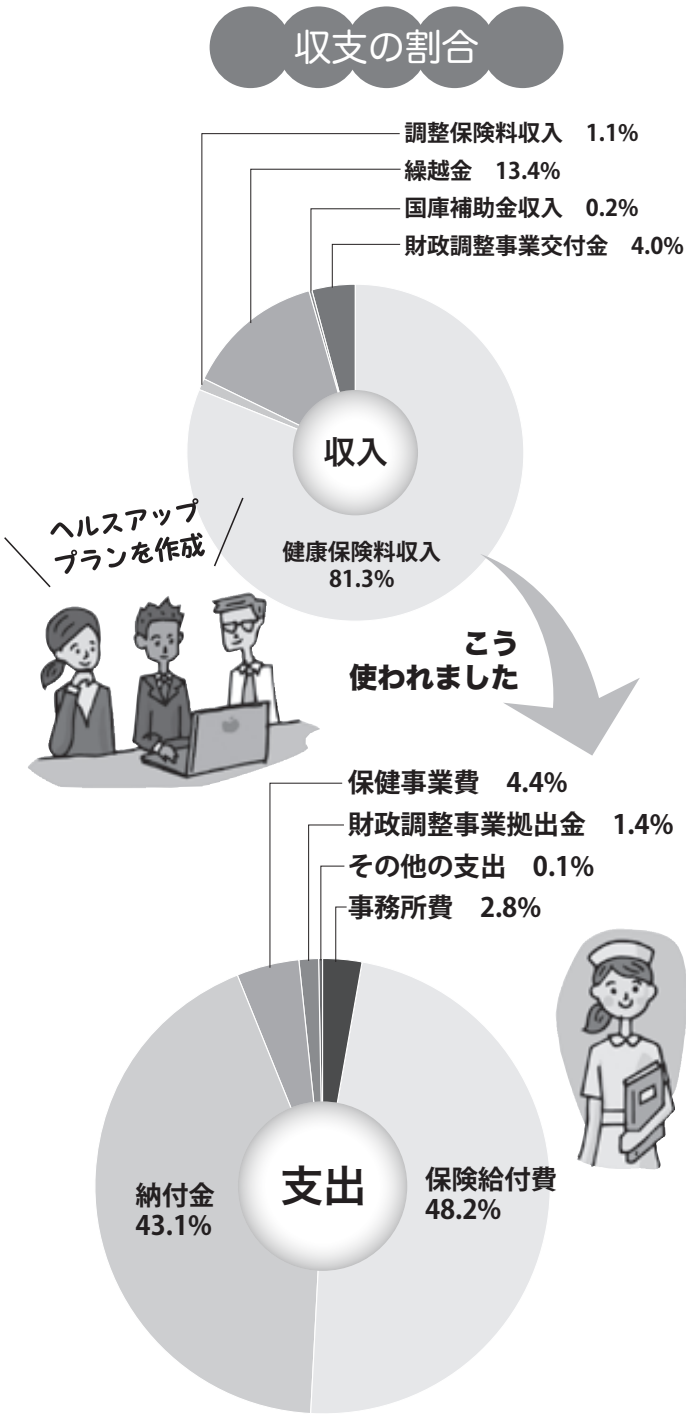
●収入

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
健康保険料収入	1,211,699	健保組合運営の財源として被保険者と事業主から納入していただいた金額
調整保険料収入	16,990	健保組合間の財政面における相互扶助のための別枠保険料
繰越金	199,675	前年度からの繰越金
繰入金	0	当年度に別途積立金等を取り崩した金額
国庫補助金収入	3,190	保険給付費等への、国からの補助金
財政調整事業交付金	58,126	高額医療費を補助するための健保連からの交付金
雑収入他	254	受取利息や拠出金の精算金等
合計	1,489,934	

●支出

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
事務所費	33,744	健康保険組合を運営するための経費
保険給付費	576,167	医療費と各種給付金（国が定めた法定給付と健保独自の付加給付）
納付金	515,444	高齢者医療制度を支えるために健保から国へ拠出した金額
保健事業費	52,606	保健指導宣伝（社会保険ガイド、健保だより、電話健康相談他）、疾病予防（人間ドック他）等に使用した金額
財政調整事業拠出金	16,990	健保組合間の財政面における相互扶助のために健保連へ拠出した金額
その他の支出	660	健康保険組合連合会年会費等
合計	1,195,611	

収支の割合



介護勘定

●収入

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
介護保険収入	54,761	介護保険の財源として被保険者と事業主から納入していただいた金額
繰越金	15,334	前年度からの繰越金
雑収入	1	受取利息等
合計	70,096	

●支出

科目	金額 (単位：千円)	科目の説明
介護納付金	58,551	介護保険財政をまかなうために国へ納付した金額
介護保険料還付金	0	還付した介護保険料金額
合計	58,551	

●支出

千円で予算額の97・5%、1人当たり41万1、443円となりました。

◇調整保険料収入は1、699万円で予算額の97・4%、1人当たり5、769円、前年度繰越金は1億9、967万5千円、1人当たり6万7、801円となりました。

◇国庫補助金収入は319万円で1人当たり1、083円、財政調整事業交付金は5、812万6千円で1人当たり1万9、737円、雑収入は25万4千円で1人当たり86円となっています。

◇支出総額は11億9、561万1千円で、前年度比4、642万3千円の減少、予算額の80・1%、1人当たり40万5、980円(対前年度比6万3、066円の減少)でした。

◇科目の内訳は、第1款事務所費は3、374万4千円で予算額の97・1%、所要財源率2・59/1000、

1人当たり1万1、458円でした。

◇第3款保険給付費は5億7、616万7千円で、予算額の85・1%、所要財源率44・09/1000、1人当たり19万5、642円でした。このうち法定給付費は5億6、472万4千円で、1人当たり19万1、757円、付加給付費は1、144万3千円で、1人当たりでは3、886円となりました。

◇第4款納付金は5億1、544万4千円で、所要財源率39・44/1000、1人当たり17万5、023円となり、その内訳は前期高齢者納付金2億2、643万9千円、後期高齢者支援金2億6、964万9千円、退職者給付拠出金1、935万2千円、老人保健拠出金3千円でした。

◇第5款保健事業費は5、260万6千円で、予算額の64・6%、所要財源率4・03/1000、1人当たり1万7、863円でした。

◇その他は、第8款財政調整事業拠出金1、699万9千円、第9款連合会費63万4千円となりました。

(介護勘定)

◇この結果、法定給付費等に要する保険料率は82・65/1000、実質保険料率は90・11/1000となり、一般勘定は収入合計14億8、993万4千円、支出合計11億9、561万1千円、差引残2億9、432万3千円となりました。

*別途積立金として4、693万4千円を積み増し、次年度繰越金として2億4、738万9千円を繰越して、平成28年度の事業を終了しました。

収入は介護保険収入5、476万1千円、繰越金1、533万4千円でした。支出は、介護納付金5、855万1千円でした。

*介護勘定は収入合計7、009万6千円、支出合計5、855万1千円、差引残1、154万5千円となりました。準備金として47万7千円を積み増し、次年度繰越金として1、106万8千円を繰越して、平成28年度の事業を終了しました。

暑さのピークがやってくる!?

熱中症にご注意を

熱中症は、環境や体調によってだれでも発症する可能性があります。重症になると後遺症が残ったり死に至ったりする可能性もあります。こまめに水分を補給する、外出時には日傘や帽子を使うなどの対策を心がけ、熱中症の症状が出てしまった場合は症状にあわせた応急処置を行いましょう。



熱中症かなと思ったら…

異常の発生

涼しい場所へ移動 (風通しのよい日陰、クーラーのきいている室内へ)

衣服をゆるめ、身体を冷やす (熱を身体の外に逃がします)

熱けいれん

- 筋肉痛
- 手足がつる
- 筋肉がけいれんする

熱失神・熱疲労

- めまい
- 全身倦怠感
- 悪心・嘔吐
- 頭痛

熱射病

- 体温が高い
- 意識障害
- 呼びかけや刺激への反応がにぶい
- 言動が不自然
- ふらつく

生理食塩水を補給
0.9%の食塩水(1ℓの水に9gの食塩水)を補給します。

水分を補給
0.1～0.2%の食塩水やイオン飲料、*経口保水液を補給します。

すぐに救急車を要請!

回復しないときは救急車を要請

回復
回復した場合も、容態が急変することがあるので、念のために病院で診察を受けておきましょう。

足を高くして寝かせる
手足から身体の中心に向かってマッサージすると効果的です。

回復しないときは救急車を要請

救急車到着まで
水をかけたり、濡れタオルをあてて、身体を冷やします。首すじ、腋の下、大腿部の付け根など大きい血管を冷やすのも効果的。

病院へ!!

出典：文部科学省、(株)日本スポーツ振興センター、熱中症を予防しよう～知って防ごう熱中症～(一部改変)

事業概要 (平成29年6月末現在)	被保険者数	被扶養者数
	男 1,997人 女 1,178人 計 3,175人	1,285人 1人当たり扶養率 0.40人
事業所数	平均標準報酬月額	介護保険第2号被保険者数
9事業所	男 362,598円 女 263,301円 平均 325,756円	930人

*経口保水液 1ℓの水に塩小さじ1/2(3g)、砂糖小さじ4と1/2(40g)をしっかりと混ぜてつくります。雑菌の繁殖を防ぐために、作り置きせず、その日に飲むようにしてください。

